

宮城大学教育ポリシー

平成22年11月24日
第31回理事会

第一次改正
平成27年3月25日
第94回理事会

宮城大学アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

宮城大学は、本学の理念や各学部の人材養成目標を理解し、意欲を持って主体的に学修に取り組み、積極的に地域社会に貢献しようとする意志と、そのための基礎となる学力を備えた学生を求めています。なお、各学部のアドミッション・ポリシーも併せて参照してください。

【あらかじめ習得しておくことが望ましい事項】

高等学校で学習した科目の内容をしっかりと身に付けていることが望まれます。特に、本学は「世界に開かれた大学」という理念を掲げているので、コミュニケーション・ツールとしての基礎的な英語力が必要であるほか、国語、地理歴史、芸術など外国人と積極的にコミュニケーションする上で重要な科目の習得が望まれます。なお、各学部のアドミッション・ポリシーも併せて参照してください。

【入学者選抜方針】

宮城大学が求める学生を選抜するため、学部・学科ごとに、一般選抜及び各種の特別選抜を実施します。なお、各学部のアドミッション・ポリシーも併せて参照してください。

- (1) 一般選抜では、高等学校までの学習到達度を見るため、5教科6科目以上の大学入試センター試験を課して幅広く基礎学力を評価するとともに、学部・学科ごとに、個別学力検査、小論文、面接により評価します。
- (2) 特別選抜では、学部・学科ごとに、学力、意欲、適性などを評価します。

宮城大学看護学部アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

次のような資質を併せ持つ学生を求めています。

- (1) 人や社会、看護に関心を持っている人
- (2) 人の喜び、苦しみを分かち合える温かい思いやりを持ち、人との関係を大切にできる人
- (3) 科学的探究心を持ち、主体的かつ柔軟な発想で取り組むことができる人
- (4) 国の内外を問わず、看護学を通して社会に貢献しようと思っている人

【あらかじめ習得しておくことが望ましい事項】

入学までに、国語と英語の学習によって、基礎的な読解力や表現力、論理的思考力等の言語運用能力を身に付けていること。理科や数学の学習によって、生命現象を理解するために必要となる自

然科学の基礎知識，論理的思考力等の科学的リテラシーを身に付けていること。地理歴史・公民の学習によって，変化する社会情勢に対応するための基礎知識を身に付けていることを求めます。また，特別活動及び課外活動等を通して，看護職の基本的適性である主体性，協調性，コミュニケーション能力等を身に付けていることを求めます。

【入学者選抜方針】

看護学部を選抜試験では以下の評価を行います。

- (1) 一般選抜入試では，大学入試センター試験の5教科6科目以上で学力を問うほか，個別試験の小論文及び面接で学力，意欲，適性を評価します。
- (2) 推薦入試では，基礎学力検査（英語），小論文，面接，調査書・推薦書等の出願書類によって，学力，意欲，適性を評価します。
- (3) 小論文では，与えられた文章や資料などを読みとる能力，それに基づき自分の考えを明瞭に論理的に記述する能力などを評価します。
- (4) 面接では，看護職を志す意欲，看護職の基礎的な適性である対人への態度や社会性，コミュニケーション能力などを評価します。
- (5) 編入学試験では既習の看護学に関連する知識，A0入試では社会経験を考慮した特別入試を行います。

宮城大学事業構想学部アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

次のような資質を併せ持つ学生を求めています。

- (1) 社会の動向や時代の流れに興味を抱き，自ら問題を発掘し，論理的に考え，表現することを学ぶための基礎的な学力を有する人
- (2) 大学での勉学に対する強い意欲を持ち，高度な知識とスキルを身に付けることによって社会に貢献することを目指す人

事業計画学科

- ・実行可能な計画をまとめ上げる際に必要となる，情報・データの読解，論理的な思考や表現の方法を学ぶための基礎学力を有する人
- ・チーム内で自らの役割を自覚し，プロジェクトの実現を目指していく意欲溢れる人

デザイン情報学科

- ・生活を取り巻く環境としての「空間（建築，街，インテリアなど）」や「メディア科学（コミュニケーション技術・ツール，情報システムなど）」に関する理論と技能を学ぶことに強い関心を持ち，かつ，その実践に意欲を持つ人

【あらかじめ習得しておくことが望ましい事項】

入学までに，国語・数学・英語の学習によって，文章・データの読解や論理的思考・表現のための基礎学力を身に付けていること，理科・地理歴史・公民の学習によって，広い視野で社会や技術に向き合うための基礎知識を身に付けていることを求めます。

【入学者選抜方針】

あらかじめ習得しておくことが望ましい基礎学力や基礎知識の確認のために、選抜試験では以下の評価を行います。

- (1) 一般選抜入試では、大学入試センター試験の5教科7科目以上で学力を問うほか、個別試験の小論文、英語又は数学の試験により、志望分野に必要な学力を評価します。
- (2) 推薦入試では、基礎学力検査(英語)、小論文、面接、調査書・推薦書等の出願書類によって、学力、意欲、適性を評価します。
- (3) 小論文では、与えられた文章や図表などを理解し、それに基づき自分の考えを展開し、その結果を的確に表現する総合的な能力を評価します。
- (4) 面接では、調査書・推薦書等の出願書類も参考にして、社会や志望分野に対する関心、勉学や将来への意欲、コミュニケーション能力などを評価します。

宮城大学食産業学部アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

次のような資質を併せ持つ学生を求めています。

- (1) 食及び食を取り巻く環境に興味を持っている人
- (2) 食の安全・安心、環境との調和などの課題解決に情熱を傾けようとする人
- (3) 社会の一員として食産業に貢献する意欲のある人

【あらかじめ修得しておくことが望ましい事項】

入学までに、国語・英語について、基礎的な読解力や表現力、論理的思考力等の言語運用能力を身に付け、情報の収集や発信ができること。理科・数学については、自然科学の基礎知識を身に付けた上で、論理的思考ができること。地理歴史・公民では、社会の情勢を理解した上で適切に対応・行動するための基礎知識を身に付けていることを求めます。

【入学者選抜方針】

食産業学部では、「食」に関する勉学や仕事への意欲が強く、食産業の担い手としての基礎的な適性がある人を受け入れるため、以下の評価を行います。

- (1) 一般選抜入試では、大学入試センター試験の5教科6科目以上で学力を問うほか、個別試験の英語もしくは英語及び理科の学力検査により、それぞれの分野に必要な学力を評価します。
- (2) 推薦入試では、基礎学力検査(英語)、小論文、面接、調査書・推薦書等の出願書類によって、学力、意欲、適性などを評価します。
- (3) 小論文では、与えられた文章や資料などを理解し、それに基づき自分の考えを文章として論理的に表現する能力などを評価します。
- (4) 面接では、調査書・推薦書等の出願書類も参考にして、勉学意欲・適性、コミュニケーション能力などを評価します。

宮城大学大学院アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

宮城大学大学院は、本学の理念や各研究科の人材養成目標を理解し、意欲を持って主体的に学修に取り組み、高度専門職業人又は研究者として積極的に地域社会に貢献しようとする意志と、その

ための基礎となる広い視野と必要な学力を備えた学生を求めています。なお、各研究科のアドミッション・ポリシーも併せて参照してください。

【入学者選抜方針】

専門科目、外国語（英語）、小論文、面接、口述試験、提出書類などによって、必要な学力、意欲、適性を評価します。なお、各研究科のアドミッション・ポリシーも併せて参照してください。宮城大学大学院では、高度な研究能力および高度に専門的な職業能力を身につけるのに必要な学力、意欲、適性をもった人を受け入れます。

宮城大学大学院看護学研究科アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

看護学研究科博士前期課程では、高度な研究能力及び高度に専門的な職業能力を身に付けるために必要な学力、意欲、適性を持った人を受け入れます。

看護学研究科博士後期課程では、看護実践経験に基づく専門知識と実践力を有し、高度看護実践指導者や看護教育研究者を目指す人を受け入れます。

【入学者選抜方針】

看護学研究科博士前期課程では、専門科目、外国語（英語）、小論文、面接、提出書類等によって、必要な学力、意欲、適性を評価します。社会人については特別入試によってこれを評価します。

看護学研究科博士後期課程では、専門科目、外国語（英語）、面接、提出書類等によって、必要な学力、意欲、適性を評価します。

宮城大学大学院事業構想学研究科アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

事業構想学研究科博士前期課程では、事業構想に関する知識やスキルの高度化に強い意欲を持つ人を受け入れます。

事業構想学研究科博士後期課程では、事業構想に関する専門的な知識又は高度な経験を有し、自らの専門領域の研究に強い意欲を持つ人を受け入れます。

【入学者選抜方針】

事業構想学研究科博士前期課程では、以下の入試方法により学力、意欲及び適性を評価します。

- (1) 一般選抜試験では、専門科目、英語、面接、研究計画書等出願書類の内容により、学力、意欲、適性を評価します。また、社会人特別選抜試験、外国人特別選抜試験では、これらのうち、英語を除いた科目等により、評価を行います。
- (2) 専門科目では、専門領域に関する知識や論理的思考能力、表現力などを総合的に評価します。
- (3) 面接では、自らの専門領域のみならず関連領域に対する関心、勉学や研究に対する意欲、コミュニケーション能力などを評価します。

事業構想学研究科博士後期課程では、以下の入試方法により学力、意欲及び適性を評価します。

- (1) 選抜は、専門科目、口述試験（面接を含む）及び研究計画書等出願書類の内容を総合的に評価します。
- (2) 専門科目試験では、入学後の研究内容に関連する知識及び論文執筆能力について評価します。
- (3) 口述試験では、これまでの研究内容、実務経験及び入学後の研究計画等について問うことで、研究遂行能力、意欲、コミュニケーション能力などを評価します。

宮城大学大学院食産業学研究科アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

食産業学研究科博士前期課程では、食産業に関する知識や経験を持ち、専門領域の知識や技術の応用・高度化を求める人を受け入れます。

食産業学研究科博士後期課程では、食産業に関する知識や経験に基づいて、自ら専門領域の知識や技術のフロンティアを切りひらく強い意欲のある人を受け入れます。

【入学者選抜方針】

食産業学研究科博士前期課程では、以下の入試方法により学力、意欲及び適性を検査することで、判断します。

- (1) 入学者選抜は、一般選抜又は特別選抜（社会人）によって行います。
- (2) 一般選抜では、外国語（英語）、専門科目1科目、面接（希望する専門分野に関する口頭試問を含む。）及び出願書類の内容をもって総合的に判断します。
- (3) 特別選抜（社会人）では、面接（希望する専門分野に関する口頭試問を含む。）及び出願書類の内容をもって総合的に判断します。

食産業学研究科博士後期課程では、以下の入試方法により学力、意欲及び適性を検査することで、判断します。

- (1) 入学者選抜は、一般選抜又は特別選抜（社会人）によって行います。
- (2) 一般選抜では、外国語（英語）、専門科目1科目、面接（希望する専門分野に関する口頭試問を含む。）及び出願書類の内容をもって総合的に判断します。
- (3) 特別選抜（社会人）では、面接（希望する専門分野に関する口頭試問を含む。）及び出願書類の内容をもって総合的に判断します。

宮城大学カリキュラム・ポリシー

宮城大学では、ディプロマ・ポリシーで示した課程修了に当たり修得すべき学修成果を学生が達成できるよう、次のようにカリキュラムを編成する。

- (1) 豊かな人間性の形成と基礎的な科学力の向上を図る共通教育（基盤教育）と、専門分野の基礎的な知識と技能を修得させる専門教育による体系的なカリキュラムを編成する。
(共通教育（基盤教育）及び各学部のカリキュラム・ポリシーも参照のこと)
- (2) アクティブ・ラーニングの実施など学生が授業内外において能動的に学修を進められるよう取り組む。
- (3) 到達目標と成績評価基準を明確にし厳正で公平な成績評価を行うとともに、学生が自ら到達度を点検・自己評価できるようにする。

共通教育科目は、語学、情報リテラシー、人間形成科目、人文・社会科学、基礎科学、特別講義、留学生対象科目により構成する。

- (1) 語学には、英語などの外国語を実践的に学ぶ科目を配置する。
情報リテラシーには、情報処理と統計の基本に関する科目を配置する。
- (2) 人間形成科目には、高等学校教育から大学教育への円滑な意識転換を図る必修科目のほか、健康の増進や芸術性の涵養、文化などに関する教養を養う科目及び視野を世界に広げるための科目を配置する。
- (3) 人文・社会科学には、人間の本質と社会の仕組みに関する教養を養う科目を配置する。
- (4) 基礎科学には、各学部の専門教育科目を学ぶ上で基礎となる自然科学に関する科目を配置する。
- (5) 特別講義には、幅広く教養を身に付けるための科目を配置する。
- (6) 留学生対象科目には、留学生が日本語運用能力を高めるとともに、多角的な視点から日本を捉え、理解するための科目を配置する。

宮城大学看護学部カリキュラム・ポリシー

看護学部では、科学的な思考力と実践的なスキルを備えた、人間性豊かな看護職を養成するために、次のようにカリキュラムを編成する。

- (1) 専門基礎科目として、健康と看護学の理解のために必要となる知識及び技術を修得するための関連科目を配置する。
- (2) 専門科目として、看護の基礎理論と基礎技術を修得し、特定の健康課題に対応して看護を提供するために基本となる知識及び技術を修得するための科目を配置する。
- (3) 看護実践能力を養成するために、保健医療福祉機関での臨地実習を「基盤看護学」「次世代育成看護学」「成熟期看護学」「広域看護学」の各分野で実施し、さらに統合したケア提供のための総合実習を行う。
- (4) 専門性を発展させる研究活動の基礎を修得するための指導体制を提供する。
- (5) 保健師又は養護教諭の資格取得のための科目、国際的視野を養うための科目、災害看護に関する科目を配置する。

宮城大学事業構想学部カリキュラム・ポリシー

事業構想学部では、事業構想の知識とスキルを備え、事業計画学科においては技術のわかる事業者、デザイン情報学科においては事業のわかる技術者を養成するためのカリキュラムを編成する。

- (1) 事業構想を理解し実践するための技術や手法を学ぶために学部共通の基礎科目を設けるとともに、それぞれの学科・領域における専門的な知識と技能を学ぶための専門科目を配置する。
- (2) 事業を総合的に理解するとともに応用力を育成するために、各専門領域を越えて有機的に連携させたカリキュラムを編成する。
- (3) 現実の事業展開を想定した演習や事例研究・フィールドワーク、インターンシップを配置することにより、事業構想に関する知識の理解を深め、社会・人間への洞察力を涵養するとともに、個々の実践力を培う。

宮城大学食産業学部カリキュラム・ポリシー

食産業学部では、食産業において地域に貢献し、世界に通用する実践的人材を養成するために、次のようにカリキュラムを編成する。

- (1) 食産業を総合的に学ぶために学部共通の専門基礎科目を置き、並びに専門的な知識、考え方や技術を身に付けるために学科ごとに専門科目を置く。
- (2) ビジネスに関する経営系科目及び地域社会で活躍できる人材養成のための科目を設ける。
- (3) 少人数による実験、実習等の実践教育に加え、アクティブ・ラーニング、課題解決型学習法、フィールドワークなどを導入した学修方法を取り入れる。
- (4) 地域及びグローバルな課題に対応できる視野を養うために、国内外での研修に関する科目を設ける。

宮城大学大学院カリキュラム・ポリシー

宮城大学大学院博士前期課程では、ディプロマ・ポリシーで示した課程修了に当たり修得すべき学修成果を学生が達成できるよう、次のようにカリキュラムを編成する。

- (1) 学士課程における教育を基礎とし、それとの関係にも配慮しつつ、学生が専門分野に関する専門的知識と技能を修得することができるようカリキュラムを編成する。
(各研究科のカリキュラム・ポリシーも参照のこと)
- (2) 学生が倫理観・責任感・使命感を育み、世界的な視野と幅広い視点を持つことができるよう配慮する。
- (3) 学生の問題設定能力、調査分析能力及び問題解決能力を向上させることにより、高度専門職業人又は研究者として活躍できるための基礎を固める。
- (4) 成績評価基準を明確にし公平で透明性のある評価を行うとともに、論文審査基準の明確化など透明性・客観性のある厳正な学位審査を行う。

宮城大学大学院博士後期課程では、ディプロマ・ポリシーで示した課程修了に当たり修得すべき学修成果を学生が達成できるよう、次のようにカリキュラムを編成する。

- (1) 学生が専門分野に関する高度な専門的知識と技能を修得することができるようカリキュラム

を編成する。

(各研究科のカリキュラム・ポリシーも参照のこと)

- (2) 学生が倫理観・責任感・使命感を育み、世界的な視野と豊かな学識を身に付けることができるよう配慮する。
- (3) 学生の高い問題設定能力、調査分析能力及び問題解決能力を育成し、高度専門職業人としての卓越した能力又は独創的な研究を自立して遂行できる能力を身に付けさせる。
- (4) 成績評価基準を明確にし、公平で透明性のある評価を行うとともに、論文審査基準の明確化など透明性・客観性のある厳正な学位審査を行う。

宮城大学大学院看護学研究科カリキュラム・ポリシー

看護学研究科博士前期課程では、各専門領域における看護実践現場の課題に対応できる専門的な知識・技術及び研究能力を有し、看護実践現場の変革・改革に寄与する人材を育成するために以下のカリキュラムを編成する。

- (1) 看護学専門領域における研究能力を養成する「研究能力養成コース」と高度な実践力を備えた専門的看護師を養成する「専門看護師養成コース」を設ける。
- (2) 学生が学際的な視野と専門とする看護学領域における専門的な知識・技術を修得できるよう保健医療福祉に関する専門共通科目、共通選択科目及び専門科目を編成する。
- (3) 学生が研究活動を計画的に進行できるよう個別指導を基盤にしながら定期的に小集団・大集団による指導体制を提供する。
- (4) 専門看護師教育においては、学生が高度な看護実践力を修得できるよう専門とする看護学領域において段階的に実習できるよう実習施設を配置する。

看護学研究科博士後期課程では、各専門領域を基盤に生涯健康支援の観点から専門的かつ高度な知識・技術を有するとともに独創的な研究を通じて看護実践現場又は看護教育現場で先導できる人材を育成するために以下のカリキュラムを編成する。

- (1) 看護学専門領域を統合・包括する生涯健康支援看護学の高度な知識・技術を学生が修得できるよう基本科目と専門科目を編成する。
- (2) 学生が自立的・自律的に研究活動を進めることができるよう個別指導とともに学際的な小集団・大集団の指導体制を提供する。
- (3) 高度な看護実践指導者又は看護学教育研究者として先導的な役割を發揮できるよう学生がキャリア形成を意図して履修する「選択推奨科目」と「選択関連科目」を提示する。

宮城大学大学院事業構想学研究科カリキュラム・ポリシー

事業構想学研究科博士前期課程では、産業振興や地域振興を対象とした事業構想に関わる人材の養成を教育の目標とし、高度職業人及び研究者を育成するカリキュラムを編成する。

- (1) プロジェクトマネージャ育成のための高度職業人育成コース、専門領域における研究者育成のための学術研究コースを設ける。
- (2) 事業構想を構成するビジネスプランニング・ビジネスマネジメント・空間デザイン・情報デザインの各領域における高度な知識・技能を修得するための専門講義科目群を構成する。
- (3) 高度職業人育成コースでは、地域社会や企業と密接に関連した実践型教育を展開する。また

学術研究コースでは、グローバルな研究者育成を図るために英語科目を設ける。

- (4) 研究科共通科目として、事業構想学を概説する基礎講座を設けるとともに、事業構想学に関する最先端知識を修得するための特別講義を設ける。

事業構想学研究科博士後期課程では、先端的諸問題の発見と解決ができる独創的な研究能力と事業能力を有するプロジェクトマネージャ及び研究者育成のために、以下のカリキュラムを編成する。

- (1) 産業・事業システムと地域・社会システムを基盤の領域として据え、それぞれの領域において事業構想の高度かつ先端的な専門知識と技能を修得するための演習科目を設ける。
- (2) 独創的な研究能力・事業能力を培うため異なる分野の演習科目の修得を必修とし、多角的な視点からの発想力と分析力を培う。
- (3) 研究能力の育成及び着実な論文執筆のための研究指導科目を設ける。

宮城大学大学院食産業学研究科カリキュラム・ポリシー

食産業学研究科博士前期課程では、食産業に関する高度職業人や地域産業のリーダーの養成を教育の目標とし、以下のカリキュラムを編成する。

- (1) 安全・安心な食品の供給を担う食産業分野のイノベーションを支える人材を養成する食品イノベーション領域、食材生産を担う農水産業・農山村環境保全・食産業全般に関わるリサイクルにおけるイノベーションを支える人材を養成する農・環境イノベーション領域を設ける。
- (2) 共通科目として食産業学研究特論を配置し、食産業の現状を具体的な事例を取り上げながら考察し、合わせて研究を進める上での研究方法についても考える。
- (3) 専門科目として、専門性を高めるために、食産業に関わる各種特論を各領域で配置する。
- (4) 食産業の現場で直面している問題をより直接的に研究テーマとして、問題解決を志向したプロジェクト型の研究を進めるプロジェクト研究A・Bを配置する。

食産業学研究科博士後期課程では、食産業学分野の自立した研究者、研究マインドを持って食産業クラスターの形成に当たるコーディネーター、またグローバルからローカルレベルまで食産業の実業の世界でリーダーとして活躍する人材を養成するために、次のようにカリキュラムを編成します。

- (1) 授業科目は、基本科目、専門科目および特別研究によって構成します。
- (2) 基本科目には、自立した研究者として活躍できるための基礎力を養う科目を配置します。
- (3) 専門科目には、各分野での発展的な課題や手法について、講義形式の科目と演習形式の科目により深い専門性を獲得するよう科目を配置します。

宮城大学ディプロマ・ポリシー

宮城大学では、以下の要件を満たした者に対して、学士の学位を授与する。

- (1) 専門分野に関する基礎的な知識と技能を身に付けるとともに、世界的な視野と豊かな人間性を有している。
- (2) 修得した知識や技能を活かして、地域社会の中で自ら課題を見出し、その解決に向けて他者とも協力しつつ取り組むことができる。
- (3) 社会の発展に積極的に貢献できるよう、生涯にわたり自らの能力向上に努力できる。
- (4) その他、各学部のディプロマ・ポリシーで示す要件

宮城大学看護学部ディプロマ・ポリシー

看護学部では、以下の要件を満たした者に対して、学士（看護学）の学位を授与する。

- (1) 看護学一般に関する基礎的な知識と技術を修得し、ヒューマンケアの基本に基づいた看護を実践できる。
- (2) 高い倫理観と科学的思考に基づき、特定の健康課題に対応して看護を計画的及び創造的に実践できる。
- (3) 看護の専門性を発展させるための基本的な能力を有し、保健医療福祉における実践のなかで、ケア環境とチーム体制を積極的に整備する態度を備えている。

宮城大学事業構想学部ディプロマ・ポリシー

事業構想学部では、以下の要件を満たした者に対して、学士（事業計画学）又は学士（デザイン情報学）の学位を授与する。

- (1) 事業を構想・推進・高度化するために必要な事業計画又はデザイン・情報に関する基礎知識と技能を有している。
- (2) 地域・社会の中から自らが課題を見出し、修得した知識や技能に基づき、新たな事業創造や課題解決のための事業の計画・デザインができる。
- (3) 社会の動向や時代の流れに関心を抱き、事業の創造や課題解決に向けて積極的に取り組む態度を有している。

宮城大学食産業学部ディプロマ・ポリシー

食産業学部では、以下の要件を満たした者に対して、学士（食産業学）の学位を授与する。

- (1) 食産業に関する基礎的な知識及び技能を有し、常に自身の能力を向上させる態度を備えている。
- (2) 食産業に関して、積極的に学習に取り組み、修得した知識や技能を活かし、その発展のために尽力する。
- (3) 地域及びグローバル社会に必要とされる食産業を総合的に理解し、自ら課題を見出して解決することができる。

宮城大学大学院ディプロマ・ポリシー

宮城大学大学院博士前期課程では、以下の要件を満たした者に対して、修士の学位を授与する。

- (1) 専門分野に関する専門的知識と技能を身に付けるとともに、世界的な視野と幅広い視点を有している。
- (2) 高い倫理観・責任感・使命感を持ち、高度専門職業人又は研究者として、地域社会における様々な課題の解決のために積極的に貢献する意志を有している。
- (3) 社会の動向や学問の発展状況に常に関心を持ち、自らの高度専門職業能力又は研究力の向上に取り組むことができる。
- (4) その他、各研究科のディプロマ・ポリシーで示す要件

宮城大学大学院博士後期課程では、以下の要件を満たした者に対して、博士の学位を授与する。

- (1) 専門分野に関する高度な専門的知識と技能を身に付けるとともに、世界的な視野と豊かな学識を有している。
- (2) 高い倫理観・責任感・使命感を持つとともに、高度専門職業人としての卓越した能力又は独創的な研究を自立して遂行できる能力を有し、それらを活かして地域社会や学問の発展に貢献する意志を有している。
- (3) 社会の動向や学問の発展状況に常に関心を持ち、自ら研鑽を怠ることなく、高度専門職業人又は研究者としての能力・資質の向上に取り組むことができる。
- (4) その他、各研究科のディプロマ・ポリシーで示す要件

宮城大学大学院看護学研究科ディプロマ・ポリシー

看護学研究科博士前期課程では、以下の要件を満たした者に対して、修士（看護学）の学位を授与する。

- (1) 看護学一般に関する知識・技術に加え、専門とする看護学領域に関する専門的な知識・技術を有している。
- (2) 看護専門職としての高い倫理観・責任感・使命感に基づく高度な看護が実践できる。
- (3) 専門とする看護学領域の最新の知見を看護実践現場に合わせて適用するとともに、新たな知見を得るための研究活動を遂行できる。

看護学研究科博士後期課程では、以下の要件を満たした者に対して、博士（看護学）の学位を授与する。

- (1) 専門とする看護学領域に関する高度な知識・技術を基盤として、人の生涯にわたる健康を支援する看護方法を開発できる。
- (2) 看護専門職としての高い倫理観・責任感・使命感に基づいて、高度な実践力、教育力、管理能力を発揮し、看護実践現場を変革・改革できる態度を備えている。
- (3) 生涯健康支援看護学の観点から自立・自律的に研究活動を遂行し、組織的に看護実践の質向上に貢献できる高度な看護実践指導者又は看護学教育研究者として先導的に取り組む意志を有している。

宮城大学大学院事業構想学研究科ディプロマ・ポリシー

事業構想学研究科博士前期課程では、以下の要件を満たした者に対して、修士（事業構想学）の学位を授与する。

- (1) 地域社会における事業構想の実現のための専門的知識及び技能を有している。
- (2) 専門領域における知識・技能を軸としてそれらを発展させ、事業の構想や推進のための方策を立案できる。
- (3) 社会の動向や時代の流れに関心を抱き、自らが取り組むべき課題を見出し、それを高度専門職業人あるいは学術研究者としてそれぞれの立場から積極的に活動できる。

事業構想学研究科博士後期課程では、以下の要件を満たした者に対して、博士（事業構想学）の学位を授与する。

- (1) 産業事業システム又は地域社会システムを対象に事業構想とその実現のための高度な専門知識及び実践能力を有する。
- (2) 事業の創出や地域社会の課題抽出とその解決の方策を立案でき、さらにそれらを体系的かつ論理的にモデル化できる。
- (3) 研究成果を活かしつつ、産業や地域社会の発展をリードするプロジェクトマネージャ、研究者として貢献できる。

宮城大学大学院食産業学研究科ディプロマ・ポリシー

食産業学研究科博士前期課程では、以下の要件を満たした者に対して、修士（食産業学）の学位を授与する。

- (1) 食産業のニーズや課題及び食生活の課題に応えることのできる専門的知識及び技術を有している。
- (2) 専門領域における知識と技術を発展させ、食産業の発展に寄与するための方策を立案できる。
- (3) 流動する食産業の動向から、直面している課題を認識して自ら答えを導き実践することができる。

食産業学研究科博士後期課程では、下記の要件を満たした大学院生について、食産業学分野の自立した研究者、研究マインドを持って食産業クラスターの形成に当たるコーディネーター、またグローバルからローカルレベルまで食産業の実業の世界でリーダーとして活躍する人材を養成するという目標に達したものと認め、博士（食産業学）の学位を授与します。

- (1) 原則として標準修業年限を満たしていること。
- (2) 基本科目、専門科目および特別研究、計16単位以上を修得すること。
- (3) 博士論文の審査および最終試験に合格すること。